

民生委員・児童委員



たより

発行 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
編集 連合会広報部会
亀山市羽若町545(総合保健福祉センター内)
☎0595(82)7985

もくじ

各地区の活動紹介	2・3
主任児童委員の活動紹介	4
特殊詐欺被害防止講演会	5
救急医療キットのご案内	
お元気さん紹介、元気な子どもたち	6

「共感的理解と無条件の肯定」 11月2日(木) 亀山市民児協連合会全体研修会を行いました。



第1部～ひきこもり、不登校者への理解と対応について～

KHJ全国ひきこもり家族会連合会三重県支部 みえオレンジの会

ひきこもりに関する研修会を、家族会の堀部尚之さんとひきこもり経験者3名の方に来ていただきお話を伺いました。

経験者の方から「自分が情けない、生きていて良いのかなあと思っていた。」「親が考えている以上に悩み苦しんでいて、『つらい、苦しい』この言葉を受け止めてくれるだけでいい。」と話されました。

また4名で、対応NGの会話と共感の会話のロールプレイをしていただきました。私たちが良かれと思って発している言葉がいかに苦しめているか、そして「気持ちに寄り添い、プラス思考で追い詰めない会話」がどれだけ必要か、とてもよくわかりました。ひきこもり経験者の方の声を聴くことができ、その話される言葉の一つ一つに心を揺り動かされました。

第2部～亀山市におけるひきこもり支援の現状について～

亀山市健康福祉部 西 秀人さん・亀山市社会福祉協議会 小林 英里奈さん

亀山市では、令和3年度から「重層的支援体制整備事業」として、分野を越えた多機関の協働による支援を行うべく、取り組みが進められています。令和4年度は、1412件の相談を受け、その活動について事例報告を受けました。

今回、私たち民生児童委員として、地域の皆さんに心を寄せ、安心して暮らしていただけるように、学ぶことの大切さと「発見・つなぐ・見守る」ことの大切さを再認識する場となりました。

市長懇談会〈8月28日月〉みなさんのたくさんの声を届けました。

各テーマについて5つのテーマで皆さんの声を届けたところ、市長から次のようなお話をいただきました。

テーマ①乗り合いタクシー、路線バスの充実・免許返納への援助について

一般タクシーの3割の値段で利用できる乗り合いタクシーの良さをアピールし、もっと利用を勧めていきたい。

テーマ②マイナンバーカード保険証について

高齢者の方にもわかりやすいように説明をしていきたい。

テーマ③国道25号の大型車両の通行規制について

交通指導員の配置や大型車両の迂回対策など、国道25号の期成同盟会を通じて要請していきたい。

テーマ④各学校での長期休業期間を利用した清掃業者へのトイレ清掃の依頼について

いろいろな角度で検討する課題であるが、教育委員会で実態把握をし、検討していきたい。

テーマ⑤認定こども園の増設と預かり保育の充実について

転入者が増える傾向にあるので、永住してもらえるよう保育の充実について対応していきたい。



お知らせ 令和5年7月20日付で下記の方が民生児童委員に着任されました。(敬称略)

氏名:阿野 朝子(関地区)【担当:加太北在家、加太板屋】

現在の民生児童委員数:98名(北部地区31名・中部地区21名・西部地区24名・関地区22名)

※「民生委員・児童委員たより」におきましては、字数の都合も含め、民生委員・児童委員を「民生児童委員」、民生児童委員協議会連合会を「民児協」と表記させていただきます。

各地区の活動紹介



市議会議員懇談会

恒例事業として各校区の市議会議員をお招きし懇談会を開催しました。

川崎校区

この度、市議会議員にお越し頂き、各校区にわかれて地域の率直なご要望・ご意見を聞いて頂き感謝しています。皆様方、ありがとうございました。 西川春二

井田川校区

令和5年10月10日に市議会議員との懇談会が実施されました。民生児童委員からは特に小学生の通学路に関する内容や地域のコミュニケーションについての内容等、活発な意見が出されました。それらに対し、市議会議員も真摯に向き合っており、有意義な懇談会になりました。今後もこのような懇談会を実施していきたいと思っております。 藤村和昌



前列、左2番目から

中島議員、高島議員、森議員、鈴木議員、櫻木議員

野登校区

野登地区は2名の議員を迎えて懇談をしました。同じ市内でも各地区により抱える課題も違ってきます。高齢化、過疎化がすすんでいるため防犯面(不審者やグレーチング、鉄板等野外の物の盗難)や閉店する店が増えたことで高齢者の生活にも影響が出てきています。その中で特に、防犯カメラの設置や移動販売等を話し合いました。やはり地元の実状に合わせた具体的な話し合いが出来たことが嬉しく思いました。 内田秀美

この度の懇談会に、森美和子議員、鈴木達夫議員、高島真議員、中島雅代議員、櫻木善仁議員には、公務ご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。(順不同)



在宅福祉研修会

11月1日(水) 三重県総合文化センター 中ホール

民生児童委員と連携している2つの機関の事例について学ぶことで民生児童委員の役割や活動の在り方について考えることを目的に開催されたものです。

1つ目の事例は名張市の「まちの保健室」という相談窓口の設置です。これは地域社協と民生児童委員の中間に入るもので、社会福祉士・看護師・介護福祉士などの有資格者を配置する民生児童委員の相談窓口的なものです。市内15か所(小学校区)に設置され、地域づくり組織と一体に地域福祉を推進するのが目的となっています。

2つ目の事例は津市榊原地区の「一人暮らし見守りネットワーク」の設置です。これは各自治会を更に地区別に細分化(3~4分割)し1地区1~2名の見守りチーム員を決め月2回程度の訪問を行うものです。民生児童委員が2~3名配置され、両地区とも高齢者に手厚く、細やかな気配りが出来るように感じられました。民生児童委員のなり手不足が現状のどの地区においてもシステムを作りながら人を育てることで地域社会の暮らしを支えることに目を向けた地域独自の考えが伝わるものとなっています。2つの事例は大変参考になりましたが、当事者にとっては色々な問題も出ているそうです。それが地域との関わりを深くするもので根気よく長期的に関わることを大事にしていきたいとのことでした。





ミニミニ研修

『知っておきたい民生児童委員の基礎知識』

昨年12月の一斉改選で新任委員の方を仲間に迎え、気持ちも新たに活動を開始するに伴い、新任委員も再任委員も知っておくと役に立つ、民生児童委員の基礎知識を積み上げていこうと、西部地区では毎月の定例会にちょっとした研修(ミニミニ研修)を組み入れ学習してきました。



Cotti菜(就労継続支援B型事業所)

12月は活動記録の書き方に関する研修をし、ばらばらだった記録についての考え方や記録の仕方を共有できたうえに、活動しているのに記録に残されていないこともあることがわかりました。1月の緊急通報システムに関する研修では「知らなかった」という委員もおり、その後の支援に繋ぐことができました。3月と5月は介護サービス、福祉サービスに関する研修を行い、様々な場所に施設や事業所があったことを知ることができ、気づきや学びの多い研修でした。6月には社協職員を招き、実施している事業について講義していただきました。

7月には4年ぶりにバスでグループホーム、児童養護施設、就労継続支援B型事業所の視察研修を行いました。グループホームでは回想法について体験しながら学んだり、児童養護施設や就労継続支援B型事業所では、目と耳と肌でそこに携わる人の思いを知り、支援の在り方を学ぶ機会となりました。

西部地区では、日常の訪問、相談、サロン活動、地域行事など様々な機会を通して地域の人と繋がる活動の中で、ミニミニ研修で身につけた基礎知識を大いに活用していきたいと考えています。



つくしの家(生活介護事業所)との交流会



阪神・淡路大震災

『人と防災未来センター(兵庫県神戸市)』研修

8月17日関地区民生児童委員17名で、兵庫県神戸市の『人と防災未来センター』に研修に行きました。

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承した防災・減災の情報を発信する施設を見学しました。館内では、映像と音響で大震災の地震破壊の凄まじさを実際に体験しました。又、震災を体験された語り部さんから当時の様子を聞き、震災の怖さ・悲しみを感じました。この研修で改めて私たち民生児童委員としての災害への備えについて考える心がけを学びました。



震災の記憶フロア①(記憶の壁コーナー)



震災の記憶フロア②(震災学習テーブル)

主任児童委員は地域の子育て応援団

学校運営協議会に参加しています

亀山市内の小・中学校では、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組み、目標や方針を共有するため、学校運営協議会が開かれています。(この協議会を設置した学校がコミュニティスクール=略称CSです。)保護者代表や地域住民が学校の現状について情報を共有し、必要な支援について協議しています。その運営協議会に主任児童委員も参加しています。



写真は亀山中学校の運営協議会の様子です。会長の小林と中部地区の主任児童委員の田邊が委員となっています。亀山中では、運営協議会の委員に、まちづくり協議会の会長や、自営業者、福祉関係者、大学教授、高等学校長、PTA代表も加わり、幅広い意見交流がされています。

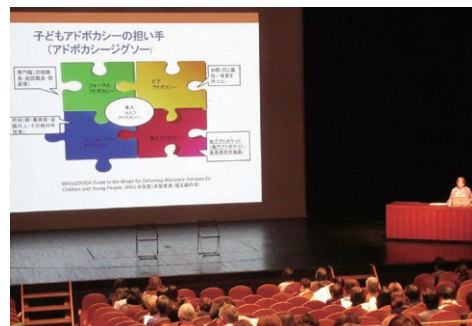
2学期は昼間に開催し、中学生代表が協議会に参加して、意見を交えました。

さらなる学校と地域の連携・協働のため、主任児童委員として橋渡しができる活動をしていきたいと考えています。

三重県主任児童委員研修会

日時 11月14日(火) 10:30～14:30

場所 三重県総合文化センター 中ホール



3年ぶりの研修会で、三重県下の主任児童委員297名が参加しました。

当日は子どもアドボカシーセンターMIEの志治優美さんに「子どもの権利～子どもが話しやすい環境をつくる～」をテーマに講演をしていただきました。「子どもアドボカシー」とは、子どもの声を聴き、権利を守る活動です。

子どもたちの実際の声を聴こうとすることは、時にとても難しい事でもあります。午後の研修では、今まで話した事がない方と隣合わせに座り、その方の自己紹介後、紹介された内容を要約してその方に聴いてもらうロールプレイを行いました。聴く側が真剣になると、話す側もそれに応えてくれる経験ができました。

困難な状況にいる子どもたちの声から、社会が変わっていけるよう、耳を傾けていきたいと思えます。

永年の功績が認められ、表彰されました。

被表彰者（敬称略）

◆三重県福祉関係功労表彰（在職年数15年以上で在職者が対象）

伊藤峰子、櫻井平治

◆亀山市長表彰（在職年数9年以上の方が対象）※2022年12月の退任者含む

伊藤栄子、倉田圭子（退任）、栗本暉己、田中芳香（退任）、谷川博子、富山たみよ（退任）、西村邦昭、林定子、福田明美（退任）、龍華弘道

◆亀山市社会福祉協議会 会長表彰（在職年数6年以上で在職者が対象）

安藤重夫、稲葉栄一、内田秀美、奥村彰、川北秀幸、草川輝昭、高嶋淑子、田辺洋子、名越平、服部厚子、山口淳子、渡邊つぐ子



「電話に出んわ！」 コロツケさんが特殊詐欺の予防を訴え

10月11日(水)、亀山市文化会館で、亀山警察署が開催した特殊詐欺被害防止講演会に参加しました。始めに、県警察音楽隊の演奏や団員による特殊詐欺の手口を教える寸劇がありました。音楽の効果もあり、ハラハラドキドキ、騙されそうになる様子は自分のことのように見え、わかりやすいものでした。

つづいて、警察庁の「ストップ・オレオレ詐欺 47～家族の絆作戦～」では、特別防犯支援官として講演活動をしているタレントのコロツケさんが、ものまねを交えながら詐欺の手口や詐欺にあわない心構えを呼びかけました。

- * 知らない電話番号には、原則出ない。また、電話番号を表示するディスプレイの設置、通話開始前に録音する旨のガイダンスを送出する機器の設置などの無償サービスを利用してほしい。
- * あらかじめ家族と好きなタレントや歌などの確認事項を決めておく。そして電話口の相手にその内容を確認し、家族かどうか確認する。
- * 怪しいと思ったら返事をせず、まず警察に相談する。

など、武田鉄矢さんや福山雅治さんらのモノマネを交えて話してください、しっかり心に残りました。



民生児童委員として、高齢者の方を訪問させていただくと、詐欺に遭いそうになった方、実際に被害に遭った方にお会いすることもあり、一人一人に講演で教えてもらったことを、楽しくわかりやすく伝えていかなければと思いました。

救急医療情報キットのご案内

●使い方

あなたの情報、緊急連絡先、持病、既往歴など、情報シートに沿って記入後、ボトルに入れて冷蔵庫に入れておきます。救急車を呼んだ際、救急隊員が中身を確認し、救命活動に繋がります。

●対象者

制限はありません。キットが必要な方で、ご希望する方にお渡しします。

●申込方法

担当窓口にお申し込みください。民生児童委員が代理で申し込むことも可能です。

申込情報(住所、氏名、生年月日)は、亀山市消防本部と共有しており、キットがあるお宅から救急出動要請があった際は、キットがあることを認識して現場に向かいます。

●既に持っている方

キットの中身は、年に1回程度更新してください。(持病やお薬の情報が古くなっている可能性があります！)新しい用紙が必要な方は、民生児童委員または担当窓口にご相談ください。



担当：亀山市 健康政策課 健康づくりグループ(あいあい12番窓口) ☎84-3316

お元気さん紹介

今回ご紹介するのは、
西部地区のお元気さんです。



布気町落針に ^{うちだ} ひさえ お住まいの 打田 久枝 さん(99歳)

手芸・陶芸・花の世話と趣味は多彩です。

元気の秘訣は、毎朝1杯の水を欠かさず飲むことです。また、豆乳、ヤクルト、コーラも飲み、食事も少な目ではありますが、嫌いな食べ物もなく残さず頂きます。

「結構、忙しい。」と言いながら、毎月神辺コミュニティ、落針公民館、道野公民館の各サロン活動に参加しています。

また、シルバーカーで病院や買い物にも行っています。

布気町道野に ^{はっとり} かずお お住まいの 服部 一郎 さん(102歳)

毎日お茶、牛乳、コーヒーを飲み、お酒も少し飲んでいきます。

元気の秘訣は、昭和～平成まで、葉タバコ、大根、米の栽培を行っていたことで、最近までトラクターに乗り野菜栽培などもしていました。

趣味は書道で、道野公民館の玄関下看板の文字を書きました。

また将棋も好きで、時々自宅で曾孫と指しています。

昨年、自動車免許の更新に行き「合格」はしましたが、免許証は返納しました。現在の移動手段はシルバーカーで、亀山エコーや名阪国道サービスエリアへ行っています。



取材 2023年8・9月

元気な子どもたち!! みんなで「じゃがいも掘り」をしました!!

昼生小学校の児童の約3割が遊友クラブ(放課後児童クラブ)に通っています。コロナ禍ではクラブへの訪問も控えていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、子ども達と接する機会が増えそうで、とても楽しみでした。

この日は梅雨の合間をぬって、地域の人々の畑で「じゃがいも掘り」をしました。参加者は児童、クラブの先生、民生児童委員など総勢14名でした。

子ども達は元気いっぱい、目を輝かせて次々とじゃがいもを掘り起こしていきました。みんなの力で沢山のじゃがいもが収穫できました。これからも子ども達との地域交流を大切にしていきたいと思っています。



編集後記

民生児童委員の活動もコロナ禍により三年間以上にわたり制限されていましたが、昨今、漸く収束の兆しが見え始め各地区では様々な活動が再開されてきました。そして今年も市長懇談会が開催され、民生児童委員の各地区会長と主任児童委員代表が直接市長と懇談し、普段の市民の皆様のご意見やご要望等をお伝えさせて頂く機会を頂戴しました。今後も広報部では市民の皆様のご意見等を頂戴し広報紙を通じて皆様の暮らしに役立つ情報を発信したいと思います。